

＼知ってる？／

リファーレ横尾  
RIFARE  
YOKO

# 須磨の歴史

白砂青松で有名な須磨浦。夏は涼しく冬は温暖な気候。

そして古来、都人も憧れた歴史文化に恵まれた地。

近代では住宅地や保養地に最適な土地柄としても知られる須磨の歴史をご紹介します。

## 1868 ● 村から町へ

- 1886 須磨10か村(妙法寺・多井畑・車・白川・東須磨・西須磨・大手・板宿・西代・池田)が八部郡板宿村外九力村戸長役場の統轄下に入る
- 1889 八部郡須磨村と改称
- 1896 八部郡、菟原郡、武庫郡が合併して兵庫県武庫郡となる
- 1912 町制施行により須磨町となる

## 1912 ● 須磨町、神戸市に編入

- 1920 兵庫県武庫郡須磨町が神戸市に編入
- 1935 須磨浦公園開園
- 1937 市電須磨線全線開通、市電板宿線開通
- 1938 阪神大水害おこる
- 1945 西神戸大空襲によりまちが焼失

## 1945 ● 須磨のまち開発が動き出す

- 1948 須磨海浜公園付設海水浴場開設
- 1957 須磨水族館開館・須磨浦ロープウェイ架設
- 1963 高倉山で須磨ベルトコンベアの工事始まる
- 1967 須磨離宮公園開園

## 1970 ● よりよい町へ、どんどん進化

- 1978 須磨ヨットハーバー開設
- 1984 神戸総合運動公園陸上競技場(ユニバー記念競技場)完成
- 1985 グリーンエキスポ'85開幕(神戸総合運動公園)
- 1987 須磨海浜水族園開園
- 1988 神戸総合運動公園野球場(グリーンスタジアム神戸)完成

## 1989 ● 自然を守り、育てる街へ

- 1993 神戸総合運動公園体育館(グリーンアリーナ神戸)完成
- 1995 阪神・淡路大震災発生(1月17日)
- 2006 須磨区の木を「松」に決定
- 2014 武庫離宮(現・須磨離宮公園)造営100年
- 2020 須磨町神戸市編入100年を迎える須磨海岸整備完了(遠浅化、遊歩道の整備など)

### 須磨町の編入以後の区域の変遷

1 須磨町神戸市編入時(大正9年)  
面積24.80km<sup>2</sup>



2 昭和16年頃 面積56.73km<sup>2</sup>



3 昭和45年頃 面積24.16km<sup>2</sup>



4 令和2年現在 面積28.93km<sup>2</sup>



大正9年の神戸市の編入後、区制の実施、境界の変更等により須磨の区域は変わっていきます。昭和6年に神戸市に区制が施行され、灘・葺合・神戸・湊東・湊・湊西・林田・須磨の8区がおかされました。その後、昭和16年に垂水町が神戸市と合併、須磨区に編入されました。しかし、昭和21年に分区し、垂水区が誕生しました。その後、昭和52年に菅の台、竜が台が垂水区から、昭和60年に神戸総合運動公園(緑台)が垂水区から、神戸市流通業務団地の一部が西区から編入され、現在の区域になりました。

©須磨区役所

### 『写真で比べる』 いまとむかし



1954年  
須磨海浜公園



1957年  
須磨水族館



1971年  
須磨海水浴場



1986年  
須磨離宮公園



1981年  
須磨海水浴場



1987年  
須磨海浜水族園



2012年  
須磨海浜水族園



2018年  
須磨海水浴場

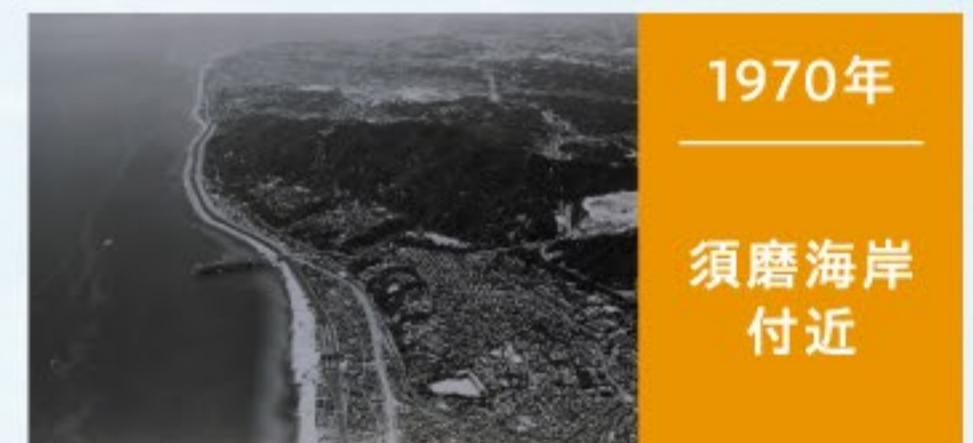


2021年  
須磨海浜公園



2021年  
須磨離宮公園

### 『写真で見る』 まち開発



1970年  
須磨海岸付近



1972年  
須磨ニュータウン空撮



1979年  
ベルトコンベア



1981年  
須磨ニュータウン



1985年  
グリーンスタジアム



1986年  
グリーンスタジアム開発



1986年  
ユニバーグ記念競技場



1989年  
ユニバーグ記念競技場



2000年  
須磨海岸付近



2000年  
須磨海岸付近

©神戸市